

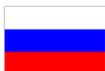


【韓国】 総合指数は週間で 13.2%安と大幅に反落、取引一時中断も

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 13.2%安と大幅に反落。新型コロナウイルスの感染拡大や原油安を受けた世界的な株安を背景に売りが加速した。9 日の急落後、10 日は韓国の企画財政省が空売り規制の強化を発表したほか、世界各国の景気刺激策への期待から反発したが、その後は 3 日続落。12 日は急落を受けてプログラム売り呼び値の効力を 5 分間停止する「サイドカー」が発動。13 日には「サイドカー」に加え、すべての取引を 20 分間中断する「サーキットブレーカー」も約 20 年ぶりに発動される事態に陥った。結局、13 日終値は 2012 年 7 月 25 日以来、約 7 年 8 カ月ぶり安値をつけた。今週も引き続き軟調な展開か。国内外で新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、収束の兆しが見えない中、リスク回避の姿勢が強まりそうだ。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は 21.2%安と 4 週続落、今週は反発期待の原油相場が支援か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 21.2%安と 4 週続落。原油相場の急落や新型コロナウイルスの世界的大流行（パンデミック）認定などでエネルギー株が暴落し、指数を押し下げた。9 日が休場で 3 連休明けの 10 日は RTS 指数が前営業日比 13.0%安。前週の OPEC プラスでの減産協議決裂とサウジアラビアの増産姿勢でエネルギー株が急落した。12 日も 11.0%安と再び急落。世界保健機構（WHO）が新型コロナウイルスをパンデミックと認定し、米国が欧州からの入国を制限したことで景気後退懸念が強まった。指数は 12 日に 966.40 ドルで引け、3 年 4 カ月ぶりの 1000 ドル割れ。個別ではエネルギーのロスネフチが週間で 32%安、ルクオイルが 21%安と急落した。今週は反発が期待される原油相場の動向が支援材料となるか。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は 14.5%安と急反落、今週は国内での感染拡大が重し

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 14.5%安と急反落。新型コロナウイルスの感染拡大に加え、原油相場の暴落が重しとなった。世界的に景気の悪化懸念が強まる中、原油相場の暴落も加わり、VN 指数は週明け 9 日に前営業日比 6.3%安。ベトナム国内でも感染が拡大したことで指数は 11 日も 3.1%下落し、「弱気相場」に入った。世界保健機構（WHO）が新型コロナウイルスをパンデミックと認定したことで 12 日は 5.2%安と大幅続落。指数は 13 日に 761.78 ポイントで引け、2017 年 8 月以来 2 年 7 カ月ぶりの安値で終えた。個別ではエネルギーのベトナム石油総社、ペトロベトナム・ガスが 26-27%安、金融のベトナム投資開発銀行が 25%安、ベトナムバンクが 16%安だった。今週は新型ウイルスの国内での感染拡大が引き続き重しか。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 10.7%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 10.7%安と反落。週初に大幅下落すると、その後も荒い値動きが続いた。9 日は新型コロナウイルスの感染拡大と原油価格の急落が嫌気され、指数は終値で前営業日比 6.6%安。一方、10 日は財務相が市場の安定化対策を強化する方針を示した効果で金融株が指数上昇をけん引し、前日比 1.6%高と 4 営業日ぶりに反発した。ただ、11 日に反落すると、12 日は取引を一時停止するサーキットブレーカーが発動されて前日比 5.0%安。13 日は 3 日ぶりに小幅反発して引けている。今週は 16 日に 2 月の貿易統計が発表されるほか、19 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 11.0%安、今週は 17 日に 2 月の非石油地場輸出発表

ストレーツタイムズ指数は週間で 11.0%安と 4 週続落。世界同時株安で低迷した。週初の 9 日は前営業日比 6.0%安と 3 営業日続落したが、10 日は前日に 2 月のデリバティブ取引件数が過去最高に達したと発表したシンガポール取引所が指数上昇をけん引し、前日比 1.8%高と反発した。ただ、11 日に反落すると、12 日は前日にトランプ米大統領が英国を除く欧州からの入国禁止を表明した影響で売りが加速し、前日比 3.8%安。13 日も下げ止まらず前日から 1.7%下落し、終値で 16 年 2 月以来の安値を更新して引けた。今週は 17 日に 2 月の非石油地場輸出が発表される予定で、前年の水準を上回れば好材料。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 17.3%安、週後半にサーキットブレーカー発動

SET 指数は週間で 17.3%安と反落。不安定な値動きが続いた。週初の 9 日は、前週末の OPEC とロシアなどの非加盟国による会合で減産を巡る協議が決裂し、原油価格が急落した影響でタイ石油公社 (PTT) が下げを主導し、指数は前営業日比 8.0%安と 3 営業日続落。10 日は反発したが、11 日は政府が 19 の国と地域に対する到着ビザの発給停止を決めたことで観光関連株が売られて反落した。12 日には史上 4 回目となるサーキットブレーカーが発動され、終値で前日比 10.8%安と急落。13 日は場中に一時、1000 ポイントを割り込んだが、終値では反発した。今週も国際情勢に左右される展開が続きそうだ。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 9.3%安、週末に 1400 ポイント割れ

クアラルンプール総合指数は週間で 9.3%安と反落。原油価格の急落と新型コロナウイルスに対する国際社会の動向が下落要因だった。週初の 9 日は原油価格が急落した影響でエネルギー株が売り込まれ、指数は終値で前日比 4.0%安と続落。一方、10-11 日は原油価格が値上がりした効果で反発した。ただ、上昇は限定的で、12 日は世界保健機関 (WHO) が新型コロナウイルスについてパンデミックを表明すると再び売り優勢に転じ、13 日は終値で前日比 5.3%安と節目の 1400 ポイントを割り込んで引けている。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。